



日本取締役協会 YEAR 2010

2010 年度 会員総会	2
委員会	3
フォーラム・セミナー	12
実務担当者向け連絡会・幹部研修	13
広報活動・レポート	15
日本取締役協会について	16

2010 年度 会員総会

一般社団法人 日本取締役協会 第 8 回定時社員総会

日時： 2010 年 5 月 13 日 (木) 16:00～18:00(総会) 18:10～(懇親会)

会場： 帝国ホテル(千代田区内幸町 1-1-1)

1. 総会 (本館 2 階 蘭の間) 16:00～18:00

16:00～16:10 会長所信表明

宮内 義彦 会長(オリックス 会長・グループCEO)

16:10～16:24 報告事項・決議事項

16:24～17:00 活動報告

1) 新任理事・新副会長ごあいさつ

- ・ 荒蒔康一郎・キリンホールディングス 相談役
- ・ 石原邦夫・東京海上日動火災保険 会長
- ・ 高須武男・バンダイナムコホールディングス 会長

2) 委員会活動報告

- ・ 弦間明・企業倫理委員会委員長(資生堂 相談役)
- ・ 出井伸之・エマージングカンパニー委員会委員長(クオンタムリープ 代表取締役)
- ・ 新美春之・企業経営と会計委員会委員長(昭和シェル石油 名誉会長)
- ・ 富山和彦・独立取締役委員会委員長(経営共創基盤 代表取締役 CEO)
- ・ 江原伸好・新しい金融の動きを理解し戦略を考える委員会委員長(ユニゾン・キャピタル 代表取締役パートナー)
- ・ 原良也・成長戦略委員会委員長(大和証券グループ本社 最高顧問)

17:00～18:00 特別講演

講師: 八代尚宏・国際基督教大学教養学部 教授

テーマ: 日本的雇用慣行の再評価と労働市場規制

2. 懇親会 (本館 3 階 鶴の間) 18:10～(19:00 中締め予定)

乾杯のご発声: 村上隆男・サッポロホールディングス 社長グループ CEO

以上

委員会

企業倫理委員会

委員長： 弦間 明 （資生堂 相談役）

共同委員長：荒蒔 康一郎（キリンホールディングス 相談役）

副委員長： 小林 俊治 （早稲田大学商学部 教授）

副委員長： 松山 遙 （日比谷パーク法律事務所 パートナー弁護士）

2010 年度は「東アジア地域における共存共栄を前提とした企業倫理」をテーマに活動します。「東アジア共同体」の可能性を探りながら、日本企業が東アジア地域で事業を展開する際の一つの基軸として、民族の倫理性と企業倫理を前面に出し、アジア型CSRの概念を確立しながら活動する可能性を研究します。既にアジアで活動する日本企業や団体の経営者・国際業務担当者を招いてお話を伺い、成長する東アジア地域における企業活動の実情を学び、議論を重ねていきます

2010/04/20 第39回

講師：JFEスチール株式会社 代表取締役社長 林田英治氏

テーマ：JFEのCSRへの取組み—主に環境・コンプライアンスについて◇JFEグループとは◇JFEのガバナンス体制◇環境保全への取組み◇コンプライアンス◇CSRとは

2010/10/05 第40回

講師：味の素株式会社 取締役 常務執行役員 岩本保氏

テーマ：アジアにおける事業展開とCSR ◇グループの概要◇食品事業の概要◇CSR活動

2010/12/17 第41回

講師：株式会社資生堂 執行役員 国際事業部 国際営業部長 岡澤 雄氏

テーマ：資生堂のアジア事業の理念と現状◇アジア展開の理念◇具体的取組み◇アジア展開におけるリスク◇目指す姿

2011/02/16 第42回

講師：森ビル株式会社 専務取締役 森浩生氏

テーマ：森ビルの都市開発理念 ヴァーティカル・ガーデンシティ◇東京の都市構造と森ビルの都市開発理念◇六本木ヒルズについて◇上海の都市開発と上海環球金融中心

エマージングカンパニー委員会

委員長: 出井 伸之(クオンタムリープ 代表取締役ファウンダーCEO)

副委員長: 楠木 建 (一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 教授)

主査: 今野 由梨(ダイヤル・サービス 社長)

世界経済は、新しいベンチャー企業がどんどん生まれてこないと発展はありません。現在の日本経済は成熟期にある中で、ベンチャー企業のキーワードとしては、①グローバルゼーション、②技術イノベーション、③新ビジネスモデル(IT、ネット等)、④新資本市場(特にアジア地域)へのアクセスがあげられます。当委員会では、経営者が集まって、実際の課題やその解決方法、先行事例などを聞きながら、少しでも元気を出したいと思っています。今後とも新しい環境下で大きな成長が期待できるベンチャー企業を育てていきたいと考えます。

2010/04/07 第30回

講師:PMIコンサルティング株式会社 エグゼクティブアドバイザー 有田暁生氏

テーマ:テーマ:イノベーションを起こす人材育成◇ビジネスパーソンとしての学習はいつ始めるか◇あすなる企業と立ち枯れ企業◇ピープル・マーケティング◇

2010/08/10 第31回

講師:株式会社キッズシティージャパン 代表取締役社長兼CEO 住谷栄之資氏

テーマ:体験のすすめ◇ホスピタリティの精神◇たくましく生きる力◇

2010/10/07 第32回

講師:慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授 岸 博幸氏

テーマ:民主党政権下の日本経済の展望◇円高◇財政再建◇経済政策◇民間企業がやるべきこと

2010/12/01 第33回

講師:フリービット株式会社 代表取締役社長CEO 石田宏樹氏

テーマ:海外を含めたフリービットの戦略◇インターネット・フロンティア◇IT企業の中国進出の現状と課題◇成長とグローバル化の関係

2011/01/18 第34回

講師:株式会社WDI 代表取締役 清水 謙氏

テーマ:WDIグループの海外展開

2011/02/21 第35回

講師:あすかアセットマネジメント株式会社 ファウンディング・パートナーCEO 谷家 衛氏、軽井沢インターナショナルスクール 設立準備財団 代表理事 小林りん氏

テーマ:あしたのアジアを担う子どもたちのために

企業経営と会計委員会

委員長：新美 春之(昭和シェル石油 名誉会長)

副委員長：奥山 章雄(公認会計士、早稲田大学大学院 教授)

会計とこれからの企業経営とは、ますます切り離せない関係になっていきます。経営に携わる人は、会計の理解を含め、より良い経営をしていこうというのが、この委員会の狙いです。2010年度は、急速に進んでいる国際会計基準の受け入れ問題を経営の視点から更に検討・研究していきます。

2010/04/21 第22回

講師：三菱商事株式会社 執行役員主計部長 安藤一郎氏

テーマ：IFRS導入に向けた課題—三菱商事の場合◇三菱商事のご紹介◇IFRS導入前の取り組み◇IFRS導入に向けた取り組み◇三菱商事への影響・課題

2010/07/05 第23回

講師：企業会計基準委員会 委員長 西川郁生氏

テーマ：IASBのMoUプロジェクトの動向とASBJの対応◇最近の会計基準を巡る国際的な動き◇IFRS導入に向けてのASBJの対応状況—ASBJの中期運営方針

2010/10/18 第24回

講師：住友商事株式会社 特別顧問 島崎憲明氏

テーマ：IFRSの現状と課題 ～企業経営と実務へのインパクト◇導入準備タスクフォース◇ASBJの定期会議◇AOSSG会議

2010/12/09 第25回

講師：金融庁 総務企画局 企業開示課長 古澤知之氏

テーマ：最近の会計基準を巡る動向について◇単体会計のコンバージェンス◇IFRS 財団のガバナンス改革◇新成長戦略における金融戦略◇四半期報告の簡素化案◇内部統制報告制度の見直し案◇

2011/02/10 第26回

講師：株式会社大和総研 資本市場調査部 制度調査担当部長 吉井一洋氏

テーマ：財務諸表利用者から見たIFRS◇財務諸表への影響と財務諸表利用者の視点～「当期純利益」か「包括利益」か、バランスシート重視、国際的な投資にはIFRS理解が必須

中堅・ファミリー企業委員会

委員長： 井口 武雄(三井住友海上火災保険 シニアアドバイザー)

副委員長： 宋戸 善一(一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 教授)

共同委員長：小野 俊夫(日さく 社長)(～2010年3月まで)

わが国の企業社会の大多数を占め、経済活力の原泉となっている中堅企業、ファミリー企業、とりわけ長寿企業の経営トップの方をお招きして、「永続する企業の経営の秘訣」についてお話を伺った上で、意見交換をします。2010年度は、そのとりまとめを予定します。

2010/04/27 第27回

講師：坂口電熱株式会社 代表取締役社長 蜂谷真弓氏 テーマ：坂口電熱のご恩返し経営

2010/05/12 第28回

講師：阿波製紙株式会社 代表取締役社長 三木康弘氏 テーマ：藍から和紙そして機能紙へ（時代の変化への挑戦）

2010/07/02 第29回

講師：曙ブレーキ工業株式会社 代表取締役社長 信元久隆氏 テーマ：akebonoというブランド

2010/09/09 第30回

講師：株式会社良品計画 代表取締役会長 兼 執行役員 松井忠三氏 テーマ：無印良品の誕生・成長・挫折・復活

2010/10/27 第31回

講師：株式会社山櫻 代表取締役社長 市瀬豊和氏 テーマ：精神の伝承、事業の継承 そしてブランド創造

2010/11/26 第32回(最終回)

講師：サントリーホールディングス株式会社 代表取締役会長 代表取締役社長 佐治信忠氏 テーマ：サントリーの経営哲学～やってみなはれと利益三分主義

2010/12/14 特別講演会

講師：株式会社虎屋 代表取締役社長 黒川光博氏 テーマ：虎屋の500年

◆2010年12月にて、活動終了。

独立取締役委員会

委員長： 富山 和彦(経営共創基盤 代表取締役 CEO)

副委員長：落合 誠一(中央大学法科大学院 教授)

企業の持続的発展ひいては日本経済の活性化を図るためにコーポレート・ガバナンスの充実を期す必要があります。そうした観点から「独立取締役制度」の果たすべき役割及び機能を具体的に議論し、その成果を発信します。目指すべき「独立取締役」制度の観点から、「独立役員」制度の充実と発展のために実践的かつ理論的な働きかけを行う予定です。

2010/06/01 第11回

講師：株式会社東京証券取引所 執行役員 静正樹氏

テーマ：コーポレート・ガバナンス向上に向けた上場制度の整備について◇上場会社のコーポレート・ガバナンス向上に向けた上場制度の整備の検討経緯◇第三者割当への対応の概要◇コーポレート・ガバナンス体制に関する開示の充実◇独立役員制度の概要

2010/09/21 第12回

講師：株式会社バンダイナムコホールディングス 取締役会長 高須武男氏

テーマ：バンダイナムコグループの経営戦略及びコーポレートガバナンス◇バンダイナムコグループについて～バンダイとナムコの経営統合～◇中長期的な戦略◇コーポレートガバナンス

2010/11/18 第13回

講師：アサヒビール株式会社 相談役 池田弘一氏

テーマ：サヒビールのコーポレート・ガバナンス◇取締役機能の明確化◇グループ経営の強化◇純粋持ち株会社

2010/12/14 独立取締役懇談会(第1回)

テーマ：独立取締役の責任と役割(一般役員と比較して)

2011/02/01 第14回

講師：株式会社産業革新機構 専務取締役 COO 朝倉陽保氏

テーマ：産業革新機構のご紹介：投資活動の概要並びに投資先に対するガバナンスについて◇プライベート・エクイティ投資について◇産業革新機構について

2011/03/17 第15回→中止・延期予定

講師：衆議院議員 浅尾慶一郎氏

テーマ：日本を取り巻く経済状況、特に金融や TPP についての展望、また民主党政権の分析などについて

発表

2009年6月 中間提言「経営者の上司は誰か—独立取締役は企業の持続的発展を求める市場経済の理性の要請である」

2009年11月 「上場制度整備の実行計画2009」に基づく上場制度の整備等について意見書」提出



書籍「独立取締役ハンドブック」

富山和彦、落合誠一(監修) 日本取締役協会 (編)

価格 2,520 円 ISBN978-4-502-99390-9 中央経済社 2010 年 5 月 31 日発売

はじめに 独立取締役の本質的な役割とは

第 1 章 独立取締役の地位と職責

第 2 章 経営者報酬とコーポレート・ガバナンス

第 3 章 独立取締役のリクルート・

第 4 章 D&O 保険の概要

第 5 章 機関投資家から見た独立取締役の役割

第 6 章 独立取締役制度普及への取組み

むすびとして

「独立取締役ハンドブック」出版記念講演会

「独立取締役ハンドブック」の出版を記念して、現在、企業の独立取締役として活躍する、オピニオンリーダーである執筆陣が、実体験に基づき、独立取締役の本来の役割・理念から、人材の確保に至るまで、幅広く議論を行いました。

日時:2010 年 7 月 13 日(火)15:00~17:00

場所:世界貿易センタービル 3 階 WTC コンファレンスセンターROOM A (JR 浜松町駅連結)

■ KEYNOTE SPEECH 当協会会長 宮内義彦氏

■ DISCUSSION 株式会社 経営共創基盤 代表取締役 CEO 富山和彦氏、ダルトン・インベストメンツ LLC 日本代表 佐野順一郎氏、日本コーン・フェリー・インターナショナル 株式会社 代表取締役会長・元米国本社取締役 橘・フクシマ・咲江氏、モデレーター:中央大学 法科大学院 教授 落合誠一氏

新しい金融の動きを理解し戦略を考える委員会(通称:金融委員会)
委員長: 江原 伸好(ユニゾン・キャピタル 代表取締役パートナー)
副委員長: 川本 裕子(早稲田大学 大学院ファイナンス研究科教授)

世界の金融市場が混乱し、一部のビジネスモデルが崩壊する中、金融業の再定義が必要になっています。各業態ごとの挑戦とチャンスをヒアリングと討議を通じて探り、再生の方向を検討します。また機関投資家の協会への参画を促し、企業のガバナンス向上への貢献を模索する。機関投資家と企業経営者の対話促進も目指します。

2010/05/10 第10回

講師: アメリカンファミリー生命保険会社 会長 チャールズ・レイク氏

テーマ: オバマ政権の経済対策と日米関係の展望◇オバマ政権の問題意識◇オバマ政権の経済政策「五つの柱」◇オバマ政権の対外経済政策◇国民の評価と今後の展望◇揺らぐ日米関係◇日本の成長戦略と対内直接投資◇

2010/07/15 第11回

講師: 株式会社損害保険ジャパン 取締役会長 佐藤正敏氏

テーマ: 損害保険事業の視点から持続可能な社会を考える◇グローバルなCSRの動向と保険・SRIの広がり(企業価値の尺度、地球社会の持続可能性、異常気象の影響と大災害)◇損保ジャパンの事例(気候変動における「緩和と適応」、安全・安心へのリスクマネジメント、CSR金融、地域における協働の促進)

2011/01/20 第12回

講師: 株式会社みずほコーポレート銀行 取締役頭取 佐藤康博氏

テーマ: 世界経済の構造変化と新たな金融機関像◇ポストリーマンショックの環境認識◇危機後の成長戦略とは何か(日本の場合)◇金融ビジネスのモデルも変化～新たな金融機関像とは◇みずほコーポレート銀行の目指すもの

発表 2010年6月 レポート「銀行の政策投資株式について」

本レポートに関する意見交換 2010/07/02 日本銀行、東京証券取引所

新しい金融の動きを理解し戦略を考える委員会ワーキンググループ

(レポート「銀行の政策投資株式について」作成)

2009/9/17(木) 11:30-13:00、10/6(火) 15-17、11/4(水) 15-17、11/26(木) 15-17、12/24(木) 12-14、2010/2/9(火) 15-17

社会構造の変化とコーポレート・ガバナンス委員会

委員長：加藤 丈夫(富士電機ホールディングス 特別顧問)

副委員長：鹿毛 雄二(ユージン・パシフィック 代表)

今回の不況を単なる景気循環の谷間でなく社会構造転換の一つの節目と捉え、わが国における社会構造転換の要因に対応した新しい事業モデルの構築に取り組んでいく必要があります。

2010 年度の前半には先進的な企業における経営革新の実例を探り、後半にはその中での新しいコーポレート・ガバナンスのあり方について検討を行い、一つの提言を取りまとめることとしたいと思います。

2010/07/26 第5回

講師：株式会社東洋経済新報社 取締役編集局長兼WEB事業室長 山縣裕一郎氏

テーマ：本はどこへ行くのか◇混乱か黎明か、その風景◇出版業界：現実、非常事態◇文字、紙、グーテンベルク、電子書籍、未来への模策

2010/09/08 第6回

講師：テルモ株式会社 代表取締役会長 和地 孝氏

テーマ：医療業界の課題と今後の展開◇医療の現状・課題◇医療機器の貢献◇高齢化問題と北欧の現状

2011/02/14 第7回

講師：DOWAホールディングス株式会社 代表取締役会長 吉川廣和氏

テーマ：日本の資源問題◇資源の偏在と寡占化◇持続可能な資源循環型社会

成長戦略委員会—持続的成長をもたらす経営力とは

委員長：原 良也 (大和証券グループ本社 最高顧問)

副委員長：竹内 弘高(ハーバード大学 教授)

副委員長：大藪 恵美(一橋大学大学院国際企業戦略研究科 教授)

企業経営には、持続的成長が求められます。それを支える「成長戦略とガバナンスの構築」を中心的テーマに置き、具体的には保有資源(人、資金など)の配分や既存事業の継続・改革・撤退、新事業の創出等に関する意思決定のプロセス、担当部署の事例研究などをポイントにして企業の持続的成長力の源を掘り下げます。

2010/10/22 第1回

講師：信越化学工業株式会社 代表取締役会長 金川千尋氏

テーマ：毎日が自分との戦い◇会社の持続的な発展のキーポイントは国際経営力◇経営者の条件としては一つは判断力、二つ目は先見性、三つ目は決断力、四つ目は実行力、最後は誠実さ、温かさ◇

2011/03/14 第2回→中止・延期予定

講師：一橋大学大学院 教授 名和高司氏

テーマ：持続的成長経営(Management for Sustainable Growth)

新しい企業価値・経営指標を考える委員会(通称:新企業価値委員会)

委員長: 東 哲郎(東京エレクトロン 会長)

共同委員長: 清水 雄輔(キッツ 最高顧問)

副委員長: 川北 英隆(京都大学大学院経営管理研究部 教授)

企業の経営環境は、グローバル化の進展に加え、リーマン・ショックにみられるような資本市場の変動リスクへの対応、国際会計基準への適応など大きく変化しています。こうした変化の中で企業価値そのものについて従来の株式時価総額中心の考え方をもう一度見直し、真の企業価値とその評価方法は何か、個々の企業経営に当たり経営指標とすべきものは何かなどを探ります。

2010/07/01 第1回

講師: 一橋大学商学部・大学院商学研究科 教授 伊藤邦雄氏

テーマ: グローバル時代の企業価値・経営指標を考える◇ディスクロージャー(企業価値・経営指標)をめぐる環境変化とモデル競争◇日本企業の非財務情報開示の実態◇コーポレートブランドの見える化◇真の企業価値とは

2010/08/05 第2回

講師: 株式会社日本経済新聞社編集局 証券部次長 深田武志氏

テーマ: 企業評価の新たな指標 NICES(ナイス)◇4つのステークホルダーの観点◇良い会社◇ランキングの使命

2010/10/08 第3回

講師: 株式会社ワイ・エム・アール投信 主宰 押谷孫行氏

テーマ: アジア諸国の企業価値と投資判断◇投資家にとっての企業価値◇株価形成のためにボードができること◇日本的なものが多すぎる現在のIR◇韓国・中国の事例

2010/12/13 第4回

講師: フィデリティ投信株式会社 ディレクター・オブ・リサーチ 三瓶裕喜氏

テーマ: 企業価値、投資価値、株価◇企業価値は投資価値、株価と等しいか◇投資価値・株価を計る尺度、重視する指標◇経営者と投資家の視点の違い

2011/02/03 第5回

講師: コマツ 取締役会長 坂根正弘氏

テーマ: コマツの経営構造改革～強みを磨き、弱みを改革～◇ビジネスから見た世界の動き◇企業価値とブランドマネジメント◇企業体質づくり

フォーラム・セミナー

モーニングフォーラム

代表: 茂木 友三郎(キッコーマン 会長 CEO)

モーニングフォーラムは、朝食にサンドウィッチを頬張りながら、ゲストを囲んで経済を取り巻く環境についての「意味のある雑談」をともにし、日本と世界の来し方行く末をおもんばかるという趣旨の定例の朝会で、毎回ゲストをお招きして、話題提供をお願いし、その後にメンバーと意見交換をしようというものです。

若手の専門家の方を毎回1名コメンテーターとしてお招きし、経営者と異なった立場から、新鮮なコメントを頂戴します。

2010/05/14 第31回

ゲスト: 内閣府 副大臣 古川元久氏 テーマ: 鳩山政権と国家戦略

2010/07/14 第32回

ゲスト: 毎日新聞社 東京本社 編集局特別編集委員 岸井成格氏 テーマ: 波乱の政局を読む 2010/09/29

第33回

ゲスト: ソニー株式会社 取締役代表執行役副会長 中鉢良治氏 テーマ: 企業におけるCSR活動について

2010/12/08 第34回

ゲスト: 東京農業大学 名誉教授 小泉武夫氏 テーマ: 和食の底力

2011/02/16 第35回

ゲスト: 株式会社三菱ケミカルホールディングス 取締役社長 小林喜光氏 テーマ: 持続可能性(サステナビリティ)と経営

セミナー

経済や経営における検討課題や個別テーマ: を取り上げる時事セミナーを適宜実施しテーマ: す。また会員の経営者だけでなく、会員企業で経営に関わる方にも広くお役に立てるよう、実務に対応したセミナーも随時開催しテーマ: す

2010/07/13「独立取締役ハンドブック」出版記念講演会

2010/08/30 セミナー「会社法制の改正をめぐる動向」

講師: 東京大学大学院 法学政治学研究科 教授 神田秀樹氏

内容: コーポレート・ガバナンス◇コーポレート・ファイナンス◇東京証券取引所の規則の実施状況◇会社法制見直しの課題(企業統治・親子会社・M&A 制度・ファイナンス) 金融商品取引法、IFRS(国際会計基準)対応

2010/10/20 セミナー「インサイダー取引規制と違反事例に見る特徴と留意点について」

講師: 東京証券取引所 自主規制法人 売買審査部 COMLEC センター長 白橋弘安氏

2010/11/24 セミナー「会社法制見直しの基本問題」

講師: 中央大学 法科大学院 教授 落合誠一氏

内容: なぜ今会社法制の見直しなのか◇企業統治のあり方(独立取締役、従業員代表監査役、企業再編と従業

員利益)◇親子会社に関する規律(企業結合法制)◇金融商品取引法・IFRS(国際会計基準)関係
新シリーズセミナー「国内ビジネスの成長を考える」

日本の経済の今後の成長を考え、国内外の需要を大きく拡大できるチャンスのある、農業、医療、高齢者サービスなどの分野について取り上げる「国内ビジネスの成長を考えるセミナー」をシリーズで開催。

2011/01/14 第1回

講師:高齢者住宅経営者連絡協議会 会長 森川悦明氏(オリックス・リビング株式会社 代表取締役)

テーマ:高齢化住宅供給の現状と課題◇急速に進む高齢化◇高齢者住宅の現状◇国土交通省が推進する「高齢者住まい法」改正◇オリックスの高齢者住宅事業

2011/02/25 第2回

講師:東芝メディカルシステムズ株式会社 相談役 小松研一氏(株式会社東芝 顧問)

テーマ:医療産業の現状と今後

2011/03/16 第3回→中止・延期予定

講師:金融庁 総務企画局 企画課長 (兼決済システム強化推進室長兼金融トラブル解決制度推進室長)
小野尚氏

テーマ:新成長戦略の金融分野におけるアクションプラン

実務担当者向け連絡会・幹部研修

内部統制連絡会

2010/05/18 第1回 講師:アンダーソン・毛利・友常法律事務所 パートナー弁護士 池永朝昭氏 テーマ:内部統制ワーキンググループにおける活動と、内部統制報告制度等の論点

2010/07/23 第2回 講師:新日本有限責任監査法人 品質管理本部 業務監理部門 公認会計士 山中彰子氏 テーマ:重要な欠陥の事例分析

各社の問題・課題についての検討 アドバイザー:プロティビティLLC ディレクタ 東義弘氏

2010/09/15 第3回 グループ会社(国内外)

2010/11/25 第4回 監査人との調整

2011/01/19 第5回 IFRS の与える影響

2011/03/08 第6回 会社法と金商法における開示、期ずれの問題

2011/04/22 第7回 講師:青山学院大学大学院 会計プロフェッション研究科 教授 町田祥弘氏 テーマ:内部統制報告制度 実施基準の変更について

2011/06/14 第8回 講師:プロティビティLLC マネジャ 大塚周平氏 テーマ:増大するグローバル企業のコンプライアンスリスクとその対応(仮)

IFRS 連絡会

2010/07/27 第1回

講師:公認会計士 早稲田大学大学院 教授 奥山章雄氏 テーマ:IFRS の基本的理解と情報

2010/09/03 第2回

講師:早稲田大学 商学大学院 教授 辻山栄子氏 テーマ:IFRS の基本的考え方

2010/10/29 第3回

講師:企業会計基準委員会 副委員長(広報担当) 新井武広氏 テーマ:IFRS の最近の動向と企業会計基準委員会の取組み

2010/12/17 第4回

講師:日本証券アナリスト協会 企業会計研究会委員 窪田真之氏 テーマ:IFRS で変わる財務諸表—投資家が注目する重要ポイント

2010/02/18 第5回

講師:オリックス株式会社 執行役 経本副本部長 加藤高雄氏 テーマ:IFRS 適用における7つの課題

内部統制研究会ワーキンググループ

2009/9/8(火)10-11、10/22(木)10-11、12/2(水)10-12 発表:池永朝昭弁護士、12/22(火)15-17 発表:吉田良夫弁護士、2010/1/14(木)9-11 発表:松本賢人弁護士、1/25(月)9-11 発表:中村隆夫弁護士、2/10(水)13-15 発表:森田尚男弁護士、3/5(金)13:30-15:00 発表:青戸理成弁護士、4/21(水)10-12 発表:遠藤元一弁護士、6/2(水)10-12 発表:山口利昭弁護士、7/2(金)12-14 まとめ:池永朝昭弁護士。

発表:2011/02/15 法律専門家による内部統制報告制度等への提言

(リーダー:アンダーソン・毛利・友常法律事務所 パートナー弁護士 池永朝昭氏)

投資家ワーキンググループ

2010/10、12 月事前コメント作成、12/9、2011/2/22、4/21、5/13。

日本の株式市場の活性化のための具体的施策に関する意見書を検討中。引き続き、新委員会(投資家との対話委員会)で検討予定)

取締役会規則ワーキンググループ

2010/11/10、12/15、2011/2/3、3/25

リーダー:西村あさひ法律事務所 パートナー弁護士 太田洋氏。取締役会規則における独立取締役の選任基準(ひな型)案の検討。

「経営幹部のためのコーポレート・ガバナンス研修」(全6回、12講座)

コーポレート・ガバナンスの普及啓蒙に取り組む当協会では、企業経営に携わる経営幹部の皆さまに対して、コーポレート・ガバナンスの視点から、新しい経営に関する研修講座を2002年度から開設しました。本講座の狙いは、当協会会員である、日本を代表する経営トップから、企業理念、経営改革、マネジメントに期待されること、コーポレート・ガバナンスに関する考え方などをご指導いただきます。ご自身のネットワーク強化の場としてもご利用いただけます。□2010年9月2日～12月15日 第16回講座 終了

広報活動・レポート

コーポレート・ガバナンスの重要な要素である、社外取締役や独立取締役についての調査やガイドライン、経営や制度・法律に関する意見書など、取締役や取締役会に関する公開情報をホームページで公開しています。

レポート

2010/06 レポート「銀行の政策投資株式会社について」(新しい金融の動きを理解し戦略を考える委員会)

2010/08 上場企業のコーポレート・ガバナンス調査2010

2011/1 独立取締役の時間の使い方調査2010(会員向け)

2011/02/15 法律専門家による内部統制報告制度等への提言(内部統制ワーキンググループ)

記者会見

2010/05/13 2010年度会員総会・会長記者会見(帝国ホテル) 宮内義彦会長

紙上対談

2011/01/31

2011 年新春対談「東京海上グループの成長戦略」—東アジアの事業展開とビジョン

ゲスト:東京海上日動火災保険 株式会社 取締役会長 石原邦夫氏

聞き手:桜美林大学 教授 馬越恵美子氏



寄稿

- ・ 2010年8月20日・9月1日合併号「旬刊経理情報」(中央経済社)独立取締役ハンドブック 書評(奥山章雄氏)
- ・ 2010年9月号月刊「金融ジャーナル」(金融ジャーナル社)レポート「銀行の政策株式について」(金融委員会ワーキンググループリーダー 佐々木裕子氏・チェンジウェブ代表)
- ・ 2010年9月10日号「旬刊経理情報」(中央経済社)巻頭「談・論」— 独立取締役における「独立性」(双日株式会社 代表取締役会長 土橋昭夫氏)
- ・ 2010年10月号「会社法務 A2Z」(第一法規)巻頭「経営放談」— 功罪半ばする四半期報告制度(東京経済大学経営学部教授、当協会副会長 若杉敬明氏)

イベントへの名義協賛¹

2010/05/28-29 Roundtable Japan six edition (主催:株式会社フォルマ、スマジャ&アソシエイツ 後援:日本貿易振興機構、日本経済新聞社)

2010/10/13 ACFEカンファレンス2010(主催:日本公認不正検査士協会)

2010/12/16 JAPAN SUMMIT(主催:Economist conference)

2011/01/19 取締役会のダイバーシティ:シンポジウム(主催:全国社外取締役ネットワーク)

2011/03/23 日本内部統制大賞2011(主催:日本内部統制大賞-Integrity Award-審議会)

¹ 主に、会員のみなさまへの情報提供などのご協力をしています。(協賛金などの支払いはありません)

日本取締役協会について

目的

日本取締役協会は経営者、専門家、研究者、独立取締役、機関投資家が集まる日本で唯一の団体です。コーポレート・ガバナンスを充実することにより、企業活動を発展させ、日本経済を元気にすることを目的にしています。

設立経緯

日本取締役協会は2001年11月に、上場企業の経営者を中心に、約80名の人々が集まって設立されました。設立から10年を経て、年間100回近くの会合を開催し、また多くの意見や成果を発表しています。現在の会員数は263名です。(2011年3月現在)

独立取締役の供給

現在の日本における独立取締役の内訳は経営者、大学教授、弁護士・会計士、官僚OB等ですが、彼らを見つけるには、経営者個人の人脈に頼ることが多く、まだまだ困難な状況であることは否めません。多彩なメンバー構成により、当協会は今後独立取締役の供給源となっていくことが、役割と考えています。

コーポレート・ガバナンスと企業の持続的発展

コーポレート・ガバナンスに関するあらゆる情報の入手、意見の発表を行っています。経営者と取締役のクオリティを向上させることにより、企業の持続的発展を促します。

設 立： 2002年3月13日。2002年4月1日に、有限責任中間法人格を取得。2009年1月21日一般社団法人に移行。

会 長： 宮内 義彦(オリックス会長)

主な編著：「取締役の条件」(日経BP社 2002年)、「委員会等設置会社ガイドブック」(東洋経済新報社 2004年)、「江戸に学ぶ企業倫理」(生産性出版 2006年)、「監査委員会ガイドブック」(商事法務 2006年)、「明治に学ぶ企業倫理」(生産性出版 2008年)、「経営判断ケースブック」(商事法務 2008年)、「内部統制の責任と現状」(税務経理協会 2008年)、「大正に学ぶ企業倫理」(生産性出版 2010年)「独立取締役ハンドブック」(中央経済社 2010年)

連絡先： 〒105-6106 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル6階 電話 03-5425-2861
協会ホームページ<http://www.jacd.jp> e-mail: info@jacd.jp

本文中のご役職・所属は講演当時のものです。また敬称略で表記させていただきますことをご了承ください。